

消化器癌患者における免疫チェックポイント阻害薬による免疫関連有害事象発現と治療効果との関連に関する研究

このたび当院では、入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を『4. お問い合わせ先』に示しました連絡先までお申し出くださいますようお願いいたします。

1. 研究の対象となる方

2017年10月から2022年12月に当院で免疫チェックポイント阻害薬（ニボルマブ、ペムブロリズマブ、アテゾリズマブ）により治療を受けられた消化器癌の患者

2. 研究目的・方法

本研究は、研究対象者の過去の情報を用いて、消化器癌に対する免疫チェックポイント阻害薬使用による免疫関連有害事象発現と治療効果との関連を明らかにすることを目的として、免疫関連有害事象発現と生存期間について電子カルテにより調査します。

研究期間は、研究承認日から2023年11月4日まで

3. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、診療科、免疫チェックポイント阻害薬の種類、癌腫、免疫関連有害事象、生存期間等

収集した情報は、匿名化した上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

4. お問い合わせ先

情報が本研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代諾者の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。申し出をいただいた時点で、既に学会や論文として発表されている場合は取り消しができないこともあります。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：研究山梨県立中央病院 薬剤部 松本 香織

〒400-8506 山梨県甲府市富士見一丁目1番1号 TEL：055-253-7111（代表）